

風呂敷はサステナブル

探ってみよう、ふろしきの歴史

奈良時代から現代まで、それぞれの時代の中で。運搬・収納をはじめ、贈答などに活用されてきた風呂敷。近年、新たに環境面から注目されています。風呂敷の変遷を見つめ、サステナブルの在りようについて模索してゆきます。

話：森田知都子 (一社)ふろしき研究会代表

1992年ふろしき研究会を立ち上げ、新たな視点からふろしき活用を提案し続けている。全国の会員を対象にふろしき講座の講師の育成に注力。『ふろしき自由自在』など著書多数。環境省3R推進マイスター・京都市ごみ減量推進会議事業運営委員

イラスト：森 三千代



とき 2023年10月21日(土) 13:30~15:30

ところ 地球環境パートナーシッププラザ

(GEOC) セミナースペース

東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

TEL.03-3407-8107

【交通アクセス】

●表参道駅

(東京メトロ：銀座線・千代田線・半蔵門線 B2出口より青山通りを直進。徒歩約5分)

●渋谷駅 (JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ)

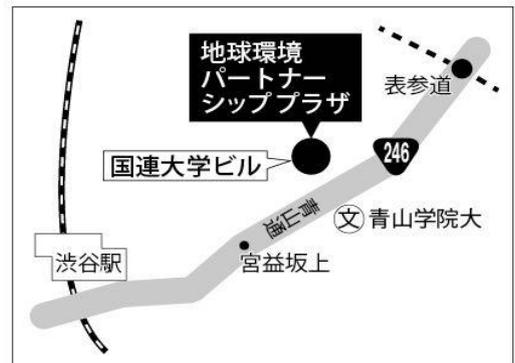
宮益坂を進み、金王坂上交差点を直進。徒歩約10分

募集人員：20名 参加費：800円(会員)1000円(一般)

■ふろしきワークショップ

伝統の包み方を数種類体験していただきます。

ふろしきはお貸しします。手ぶらでご参加ください。



◆ 問い合わせ・申し込み
ふろしき研究会事務局

☎075-432-2722

FAX.075432-3832

〒603-8157 京都市北区紫野宮東町 10-3-203

Eメール：rsj57767@nifty.com

<http://furoshiki.life.coocan.jp>

主催 **ふろしき研究会**